

令和2年度 学校自己診断集計結果分析

大阪府立三国丘高等学校

回答の分析に際しては、[1]生徒、[2]保護者のアンケート結果についてA.肯定的意見の割合が85%を超えるもの、B.否定的意見の割合が25%を超えるもの、C.経年変化の大きかったものの3区分で行い、[3]教職員のアンケート結果については経年変化から分析した。さらに[1]～[3]で取り上げなかったものを[4]その他としてまとめた。

全体としては、肯定的意見が概ね70%～80%前後以上で推移している。今後も現状維持で満足するのではなく、工夫や再考を重ね、継続・発展させていく必要があると考えられる。

[1]生徒（回答数：1年 302 2年 308 3年 310 計 920）

A 肯定的意見（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計が85%以上）

		肯定	否定
1	学校生活は楽しく、入学して良かった。	87.3%	7.7%
5	必要な進路情報の提供など、適切な進路指導を行っている。	85.4%	9.6%
6	学校生活を通じ、将来の生き方を考える様々な機会がある。	84.8%	10.2%
11	文化祭、体育祭や部活動において生徒は自主的に活動している。	91.1%	6.0%
18	プロジェクタ等の映像機器を活用した授業は効果的である。	91.0%	7.0%

【分析】

上記の5項目は、例年高い水準を保っている。

肯定的意見が、昨年は85%以上であったのに今年下回った項目は、以下の二つである。

		肯定的意見	
		R1	R2
10	人権、環境、福祉について学習する機会がある。	86.7%	84.0%
21	スタディツアーや海外からの訪問など国際交流に関する取り組みが充実している。	91.3%	81.8%

10に関しては、85%を下回ったが84%と、5年前のH28の53.2%に比べると依然として高い水準にあると言える。

21に関しては、新型コロナウイルス感染症の関係で海外研修が取りやめになったり、海外からの訪問がなくなったりしたことが原因だと思われる。今後も引き続き、生徒のニーズにも応えつつ、より効果的な教育活動を模索していく必要があると考えられる。

B 否定的意見（「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が25%以上）

		肯定	否定
9	大学受験にあまりとらわれない学習活動にも力をいれてほしい。	49.0%	38.3%
20	土曜授業は学習効果があると思う。（1・2年）。又は、あったと思う。（3年）	52.2%	36.0%

【分析】

上記の2項目は、昨年も否定的意見が25%を上回った。

9については例年同じくらいの値となるが、否定的意見は「大学受験に対応できる学習活動をしてほしい」という意見であると解釈すると、以下の二つ項目で5年前と比較すると「授業に満足している」生徒が増え、「受験勉強にもっと重点を置いてほしい」という生徒が減ってきていることから、生徒の要望に沿った授業がおこなわれていると考えることができる。

		肯定的意見				
		H28	H29	H30	R1	R2
7	満足できる授業が多い。	70.6%	75.9%	75.8%	76.6%	77.6%
8	大学受験に必要な科目にもっと重点を置いた授業をしてほしい。	72.3%	71.8%	67.5%	66.9%	63.4%

20については、次のCで分析を述べる。

C 経年変化の大きかったもの

		肯定的意見					否定的意見				
		H28	H29	H30	R1	R2	H28	H29	H30	R1	R2
13	こころの悩みや不安を抱えたとき、必要に応じて教育相談やカウンセリングを受けることができる。	57.8%	61.2%	64.2%	64.7%	71.5%	15.7%	10.9%	8.8%	11.0%	12.4%
20	土曜授業は学習効果があると思う。(1・2年)。又は、あったと思う。(3年)	47.8%	36.8%	35.8%	43.8%	52.2%	43.2%	53.7%	53.7%	46.8%	36.0%

【分析】

13に関しては肯定的意見が初めて70%台に達した。5年前に比べると約14%の増加であり、教育相談体制が生徒に周知されてきていると考えられる。

20の土曜授業に関しては、否定的意見が肯定的意見を上回ることが多かったが、今年は肯定的意見が50%を超え、否定的意見が昨年より10%近く減った。学年別に分析してみると以下のようになった。

	肯定的意見			否定的意見		
	3年	2年	1年	3年	2年	1年
土曜授業は学習効果があると思う。(1・2年)。又は、あったと思う。(3年)	45.3	47.1	64.7	40.7	39.7	27

2、3年生の肯定的意見は例年とあまり変わらず、否定的意見が若干減ったぐらいだが、1年生の肯定的意見が約65%に達し、否定的意見は27%にとどまった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で4月より休校が続いたことにより、1年生が学習に対して不安を抱き、土曜授業がその保障として捉えられたからではないかと考える。

[2] 保護者 (回答数：1年 243 2年 229 3年 284 計 756)

A 肯定的意見 (「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計が85%以上)

		肯定	否定
1	お子様にとって、学校生活は楽しく、入学させて良かった。	92.2%	5.3%
2	本校の自主自立(自律)を尊重する伝統は、よく活かされている。	86.4%	6.1%
11	文化祭や、体育祭、部活動等において、生徒の自主性が発揮されている。	89.7%	5.8%
24	土曜授業(3年は土曜講習)は学習効果があると思う。	88.1%	6.6%

【分析】

1、2、11に関しては、保護者の方々が、文武両道、自主自立、切磋琢磨を掲げる本校の教育方針を理解し、賛同してくださっていると思われる。24の肯定的意見がここ5年で1番高く、4、5月の休校分を補うための一助として、高く評価されたと思われる。

B 否定的意見 (「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が25%以上)

		肯定	否定
6	大学受験に必要な科目にもっと重点を置いた授業をするべきだ。	46.7%	31.5%
7	大学受験にあまりとらわれない学習活動にも力を入れてほしい。	49.7%	36.5%

【分析】

6、7に関しては、どちらも肯定的意見が5割近く、否定的意見が3割以上となり、大学受験に必要な科目は大切であるが、同時に受験にとらわれず、広く教養も身につけることも大切であるという保護者の意見が反映されている。本校では授業以外に部活動、SSHやSGPの探究活動、生徒会活動など様々な活動が行われており、そのバランスを見て進学先として本校を選択されていると考えられる。

C 経年変化の大きかったもの

		否定的意見	
		R1	R2
19	学校は、保護者からの意見を聴く機会を持っている。	15.8%	21.1%
22	授業参観や学校行事に参加したことがある。	7.7%	24.7%
23	総合的な学習の時間で受講した三丘セミナーや大学見学、医療体験などは役立っている。	5.0%	5.9%
25	スタディツアーや海外からの訪問など国際交流に関する取り組みが充実している。	4.1%	8.0%

【分析】

19、22、23、25で近年になく否定的意見が高かったのは、新型コロナウイルス感染症拡大による学校行事の中止などが原因と思われる。

[3]教職員（回答数：32）

経年変化の大きかったもの

		肯定的意見	
		R1	R2
3	学校では、教育活動全般について生徒や保護者の願いによく応えている。	80.6%	93.8%
20	学校経営に、校長のリーダーシップが発揮されている。	61.1%	75.0%
26	学校では、事故・事件・災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。	52.8%	75.0%
31	私は、管理職が教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員への情報提供に努めていると思う。	55.6%	71.9%

【分析】

3において肯定的意見が増加したのは、教職員が常に生徒や保護者のニーズに敏感であり、それに応えている結果であると考えられる。20、26、31においては、教職員と管理職の意思疎通が十分に行われ、防災対策プロジェクトチームを中心に、災害時の対応や備蓄などについて準備を推進してきたことが原因と思われる。

		否定的意見	
		R1	R2
25	学校では、教職員の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	13.9%	34.4%

【分析】

25において否定的意見が増加したのは、新型コロナウイルス感染症拡大によりテレワークの導入やオンライン授業など、通常とは違う対応や仕事が求められたのが理由と思われる。

		肯定的意見		
		H30	R1	R2
38	学校は、校務のICT化を推進している。	71.1%	77.8%	81.3%

【分析】

休校に伴い Google Suite for Education を導入したことで、Classroom やフォーム、Gmail など様々な機能を用いて生徒とやりとりができるようになり、業務が軽減化したり、授業や講習における活用が考え出されたりした結果であると思われる。来年度も更なる ICT 化による授業の改善や業務の軽減化をめざし、環境整備と活用の普及を推進する必要がある。

[4]その他

①進路指導に関する事項

進路に関する項目は例年高い数値で推移している。今年は新型コロナウイルス感染症による

休校措置、共通テスト導入など、3年生にとって激動の1年となったが、休校中のG Suiteの導入やきめ細かい進路情報の提供、学校再開後の講習の実施などで3年生の不安を取り除くことができるよう、対応してきた。今後とも情報を積極的に収集し、生徒の志望する進路の実現をめざして引き続き努めるとともに、自主自律の精神の涵養を重要視する立場に立ち、情報過多や生徒が受身の姿勢とならないよう留意し、指導を行う。

②授業に関する事項

生徒の肯定的な意見が過去5ヵ年連続して7割以上で推移しており、5年前と比べると肯定的意見が7%増え、否定的意見が約7%減っている（生徒の分析Bを参照）。近年、教員の入替わりも多いことから、教科内でさらに連携し、三丘生が期待する授業の質を保証するべく務める必要がある。

③施設設備に関する事項ならびに災害対策などに関する事項

各所で点検・整備を継続して実施中である。教職員の分析のところでも述べたが、防災対策プロジェクトチームを中心に、災害時の対応や備蓄などについて準備を推進してきた。生徒・保護者ともに肯定的な意見が多いが、教職員の「学校では、事故・事件・災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。」という項目では、肯定的意見がこの5年間で一番高い数値となった。防災の観点からも、設備管理を怠らずに持続していきたい。

		肯定的意見				
		H28	H29	H30	R1	R2
26	学校では、事故・事件・災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	51.0%	68.1%	65.8%	52.8%	75.0%

④スマートフォンの使用に関する事項

生徒の「②4日にスマートフォンを勉強以外で使用している時間は平均してどれくらいですか」について、4時間以上勉強以外で使用している生徒が14%もいた。昨年は11.3%であったので増加している。

24	1日にスマートフォンを勉強以外で使用している時間は平均して次のどれくらいですか。	R1	R2
	2時間以上3時間未満	25.8%	25.7%
	3時間以上4時間未満	12.1%	12.6%
	4時間以上	11.3%	14.0%

保護者の「⑳お子様のスマートフォン使用について、時間制限をされていますか。」の回答では、「していない」が昨年同様約84%となっていることから、生徒の自主性に任せているご家庭が多いといえる。生活習慣や、学習時間にも関わるので、ご家庭と情報交換しながら、成績なども関連させ、適切に生徒に注意を促していく必要があると考えられる。

⑤土曜日授業の実施に関する事項

土曜授業の実施については、生徒の分析Cでも述べたが、特に1年生の肯定的意見が約65%と高かった。保護者の肯定的意見も約88%と、新型コロナウイルス感染症による休校措置を補う学力保障の時間として認識されたのではないかと考えられる。ただ、教職員の肯定的意見は約22%、否定的意見が約59%となり、新指導要領における指導内容の改編や増加、探究活動の実施などで授業時間の確保が必要である中、部活動も含めた生徒の学校での過ごし方や、教職員の勤務についても学校全体で継続的に検討していく必要がある。